

教職員研究チーム活動状況報告書

代表者の所	三木市立 緑が丘小学校	研究チーム名
属・職・氏名	職・氏名 教諭 萩原 智子	(特別支援教育チーム)

研究テーマ分類番号 (8)

(1)研究テーマ
特別支援学級担任の資質能力向上と指導上での具体的な支援のあり方
(2)研究経過及び具体的な取組
<p>5/8 関西国際大学教育学部准教授の特別支援教育講演会(加古川市総合福祉会館) 親の願いの把握が重要であり、児童個々の実態に応じた綿密な指導計画が必要であることを改めて認識したため、親と教師との対話時間を十分にとり、医療・福祉関係機関とのコミュニケーションを密にした。</p> <p>7/10 小野特別支援学校オープンスクール参観</p> <p>7/13 三木特別支援学校オープンスクール参観 児童個々に応じた指導計画に基づき、教員が連携して指導にあたることが重要であることを改めて認識したため、支援者の配置表を再度見直した。</p> <p>7/20 親和女子大学教授と研究の方向性についての協議 (親和女子大学にて) 各教師が日々指導する中で疑問点をあげていくことが重要であるとの指摘があり、指導の中での疑問点を記録し、問題解決に向けて共通理解した。</p> <p>7/23 障害児教育学習会みきの会主催の兵庫教育大学助教の講習会(三木市教育センターにて) 授業風景を映像データ化及び各校で共有し、各教師が映像を見ながら直接知見や疑問点をうちこみ、再度各教師がそれらを確認しあい、自らの指導に生かすことができるソフトの使用が教員の資質能力向上に有効であることから、ソフトの活用・開発も含め助教と共同研究進行中である。</p> <p>8/26 親和女子大学教授と研究の方向性についての協議 (親和女子大学にて) 初めて特別支援学級担任になる教師のためのマニュアルが必要であるため、作成中である。</p> <p>9/22 和歌山大学教育学部教授による講演(三木市立緑が丘小学校にて) 医学の視点から特別支援教育を見て得られた情報も学校として収集し、指導に生かしていくことが重要で、共通理解を深め、実践に生かしている。</p> <p>10/8 親和女子大学教授と研究の方向性についての協議 (親和女子大学にて) マニュアル化に向けて内容の精選が課題であり、使用者が効果的に活用できる項目立てを行い、来年度に向けてマニュアルを作成中である。</p>